



八戸大学

ビジネス学部 | 人間健康学部
HACHINOHE UNIVERSITY

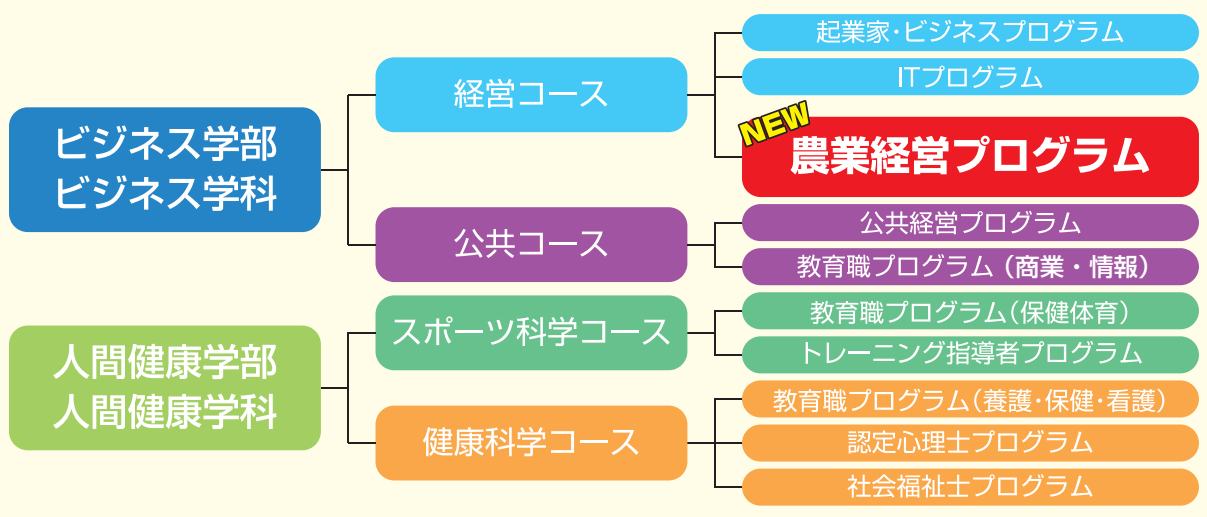
八戸短期大学

幼児保育学科 | ライフデザイン学科 | 福祉学科
HACHINOHE JUNIOR COLLEGE

2011年4月スタート

八戸大学ビジネス学部 農業経営プログラム

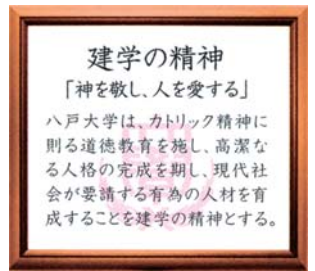
農業はITと
切り離せない時代へ



八戸大学 ビジネス学部 経営コース・農業経営プログラムとは

理 念

21世紀に予測される“食”をめぐる課題（食料の生産力低減化、安全・安心のシステム化、多様化する味覚への対応 etc）に対応するために、旧来型の“生業”的な農業経営の見直しを図り、併せて成長・発展しうる“盛業”型農業経営への円滑な転換を推進するプログラムを構築・実践することにより、21世紀の新しい農業経営の新成長モデル（アグリビジネス）として、“盛業”型の農業経営人材を育成し、広く社会に貢献することを目指します。



八戸大学と 八戸市の連携



・起業や営農支援等を
大学卒業後もサポート

・経営能力と知識を習得

・実践農場として利用
・野菜や花きの栽培技術指導

「発信型農業」

中核的な農業経営者・農業後継者の育成

特産品の開発・販売、インターネットによる通信販売 等

経営コース・農業経営プログラムカリキュラム [] 中は単位数

[2] 新農業ビジネスⅠ (実践経営)	[2] 農業経営設計	[2] 情報処理応用	[2] 地域産業論	[2] 消費者行動論
[2] 新農業ビジネスⅡ(栽培)	[2] 農業金融・農協概論	[2] 簿記概論	[2] 地域開発論	[2] 原価計算論
[2] 新農業ビジネスⅢ(流通)	[2] 農業実技	[2] 会計総論	[2] 食糧環境論	[2] 中小企業・ベンチャー 企業論 等
[2] 農業簿記	[2] 経営学	[2] 経済事情	[2] 経営管理論	
[2] 農政時事	[2] 金融入門	[2] 法学概論	[2] 経営戦略論	
[2] 農業経営	[2] 人材マネジメント	[2] 民法	[2] NPO実践論	
	[2] コンピュータサイエンス	[2] 市民社会論	[2] マーケティング論	

担当教員からのメッセージ

『日本はいま、農業も経済も大きな転換点を迎えています。東日本大震災や今後やってくるであろうTPPによって、もはや待ったなしの状況です。こんな時こそ、一番大事なことは、未来に向かって皆で学ぶことです。農業というテーマを通して、地域経済や日本経済全体へ貢献するために、皆で力を合わせてチャレンジすることが望まれています』



鈴木 誠 客員教授
(株式会社ナチュラルアート 代表取締役)
青森県出身。慶應義塾大学商学部卒業。東洋信託銀行(現・三菱UFJ信託銀行)に入社、ベンチャー投融資等を担当。平成10年東洋信託銀行を退社、慶應義塾大学院経営管理研究科(ビジネススクール)入学。平成15年農業の生産分野拡大を目的とした農業ベンチャー企業「株式会社ナチュラルアート」を設立。株式会社日本農業再生パートナーズ設立に参画、代表取締役就任。

『八戸をはじめ北東北は素晴らしい農業生産物に恵まれ、日本の食を支える大切な使命と大きな可能性を秘めています。多くの若者達はその可能性に挑戦するには最新のマーケティング戦略や情報通信技術の駆使が不可欠です。』

一緒に学び、新しい農業ビジネスにチャレンジしましょう!』



大谷 真樹 八戸大学学長補佐
(八戸大学・八戸短期大学総合研究所所長・教授)
青森県八戸市出身。学習院大学経済学部卒。日本電気を経て、株式会社インフォプラント(のちのヤフーバリューインサイト株式会社、現株式会社マクロミル)を創業。平成13年起業家のアカデミー賞といわれる「アントレプレナーオブサイヤー スタートアップ部門優秀賞」を受賞。青森県総合計画審議会委員ほか。10年で100人の起業家を青森で養成するプロジェクト推進中。